

災害時の保健医療福祉支援における JDATとその課題

2026年6月30日(火) 19:30～20:30

オンライン

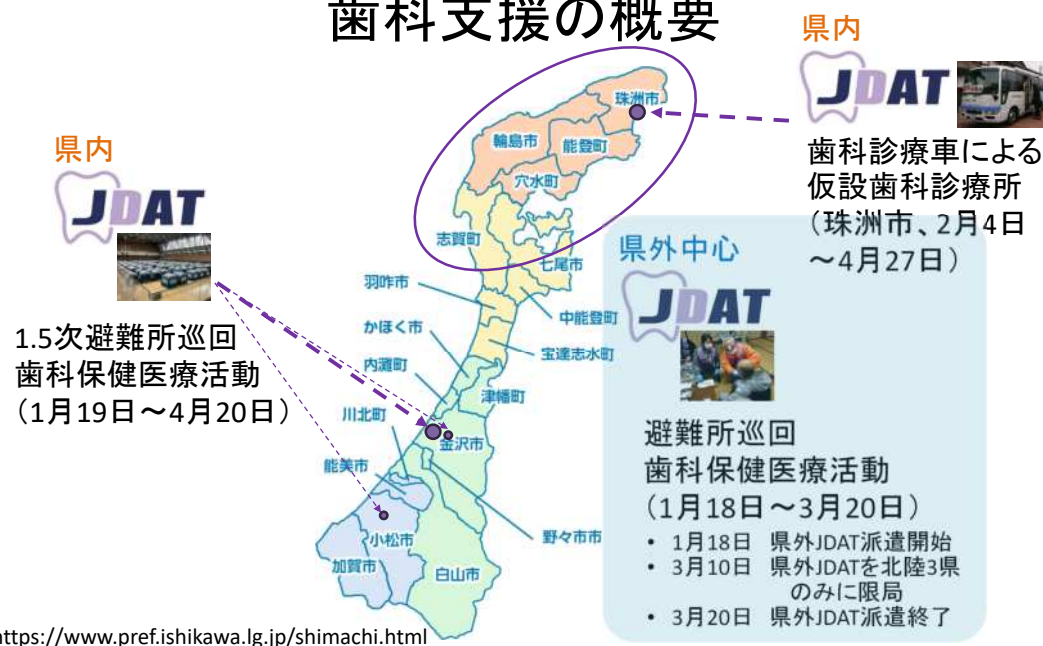
東北大学 大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 特任講師
東京科学大学 大学院 救急災害医学分野・歯科公衆衛生学分野 非常勤講師
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部・日本大学松戸歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人

中久木 康一
nakakuki@biglobe.jp

災害時の保健医療福祉支援における JDATとその課題

- 令和6年能登半島地震におけるJDAT及び歯科保健医療支援の全体像
- 災害時の保健医療体制の変遷
- JDATの位置づけと目的
- JDATが効果的な支援となるために

令和6年能登半島地震における 歯科支援の概要



JDAT 県外からのJDATの派遣

派遣チーム(計128チーム)



1月13日「石川県知事→厚生労働省
→日本歯科医師会」要請

- 1月18日
県外JDAT派遣開始
- 3月10日
北陸3県のみに限局
- 3月20日
県外JDAT派遣終了

以降は石川県歯による歯科
診療車による仮設診療所(珠
洲市、～4月27日)、
および1.5次避難所対応(～4
月20日)

令和6年能登半島地震
JDAT活動(珠洲市)



避難所の生活・衛生環境の確認

2024/1/23



避難所の歯科 口腔衛生用品の確認と整理・補充

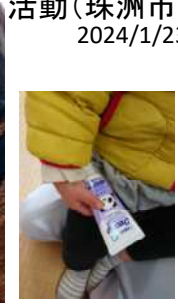
2024/1/23

令和6年能登半島地震
JDAT活動(珠洲市)

2024/1/23



避難所における歯科保健活動



避難所における応急歯科診療



避難所情報 2024年1月15日 2024年5月24日
珠洲ひのきしんセンター(石川県 珠洲市 令和6年能登半島地震災害支援ボランティア団体)
<https://suzuhinosen.tenri-kyo.org/info/shelter/>

施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票(集団・迅速) 総括表<詳細表>

アセスメント 実施年月日					作成者氏名 (所属名)												市町村名		珠洲市																										
No	避難所等の 名称	避難者 等の 人数 (人)	要配慮者 配慮が必要な対象者 (人、%)				評価 時に 在所 して いた 避難 者等 数 (人)	(1)専門支援 歯科保健医療 の確保		(2)環境 口腔清掃等 の環境		(3)用具 口腔清掃用具等の確保						(4)清掃行動 口腔清掃や介助等の 状況		(5)症状 歯や口の 訴え・異常		その 他の 問題	備考																						
			a 乳幼 児(就 学前)	b 妊婦	c 高齢 者(75 歳以 上)	d 障がい 児者・要 介護者		a 歯科診 療所・救 護所・保 健所など	b 巡回歯 科チーム の訪問	a歯磨き 用の水	b歯磨き 等の場 所	a-1歯 ブラシ (成人 用)	a-2歯 ブラシ (乳幼 児用)	b歯磨 剤	cうがい 用コップ	d歯磨 洗浄 剤	e義歯 ケース	a歯磨 き	b歯磨 清掃	c乳幼児 の介助	d障がい 児者・要 介護者の 介助			e痛み がある 者	f義歯 紛失や 義歯破 折	g食事 等で 不自由 な者																			
1	上戸小学校	75	3	0	50	2	75	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	2	不足	2	不足	2	ほほ してい ない そう	2	ほほ してい ない そう	3	不要	9	不明	9	不明	9	不明	1	いる	1	いる	1	ない	インレー脱離一 飯封 P急発 済みの処置済 み
2	直小学校	70	不明	0	35	不明	30	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	2	不足	2	不足	1	してい そう	9	不明	9	不明	9	不明	1	いる	2	ない	2	ない	2	ある	インフル・コロナ 流行		
3	若山小学校	80	不明	不明	50	不明	60	ない	9	不明	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	9	不明	2	不足	2	不足	2	不足	1	してい そう	1	してい そう	9	不明	9	不明	9	不明	9	不明	9	不明	1	ない	施設責任者が 口腔内まで情報 を摂れていない		
4	三崎小学校	50	不明	不明	10	不明	20	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	9	不明	2	不足	1	充足	3	不要	2	不足	1	してい そう	1	してい そう	3	不要	3	不要	2	ない	1	いる	1	いる	2	ある	入れ歯を無くし た人がいる		
5	栗津ビニール ハウス	5	不明	不明	1	不明	3	ない	2	ない	1	充足	2	不足	1	充足	9	不明	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	してい そう	1	してい そう	3	不要	3	不要	2	ない	2	ない	2	ない	1	ない	避難所は5人の み。必要物資を 取りにいく場所 となっている		
6	寺家大浜集 会所	23	不明	不明	不明	不明	5	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	してい そう	1	してい そう	9	不明	9	不明	9	不明	9	不明	9	不明	2	ある	あまり支援を必 要としていない 。少し嫌がられ る。インレーB 一飯封処置済		
7	寺家川上本 町集会所	30	不明	不明	6	不明	23	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	2	不足	2	不足	1	してい そう	1	してい そう	9	不明	9	不明	2	ない	2	ない	1	いる	2	ある	最初100人ほ ど避難者がいた が、今は8名の み。		
8	寺家塩津上 野集会所	8	2	0	0	0	7	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	してい そう	1	してい そう	1	してい そう	9	不明	2	ない	2	ない	2	ない	1	ない	義歯作成の途 中の方が在籍		
9	寺家下出集 会所	21	不明	不明	6	不明	12	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	してい そう	1	してい そう	9	不明	9	不明	9	不明	9	不明	9	不明	2	ある	義歯による痛み 2名一調整済		
10	旧飯塚保 育園	35	不明	不明	15	不明	30	ない	2	ない	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	1	充足	2	不足	2	不足	1	してい そう	3	不要	3	不要	1	いる	9	不明	9	不明	2	ある					

令和6年能登半島地震における 歯科支援の概要



1.5次避難所巡回
歯科保健医療活動
(1月19日～4月20日)



県内



歯科診療車による
仮設歯科診療所
(珠洲市、2月4日
～4月27日)

県外中心



避難所巡回
歯科保健医療活動
(1月18日～3月20日)

- 1月18日 県外JDAT派遣開始
- 3月10日 県外JDATを北陸3県
のみに限局
- 3月20日 県外JDAT派遣終了

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shimachi.html>



2024/2/05

令和6年能登半島地震



避難所における歯科医療救護



避難所における歯科保健活動(個別)



歯科診療所が再開できていない
市町村における仮設歯科診療所



避難所における歯科保健活動(集団)

令和6年能登半島地震における 歯科支援の概要



1.5次避難所巡回
歯科保健医療活動
(1月19日～4月20日)



県内



歯科診療車による
仮設歯科診療所
(珠洲市、2月4日
～4月27日)

県外中心



避難所巡回
歯科保健医療活動
(1月18日～3月20日)

- 1月18日 県外JDAT派遣開始
- 3月10日 県外JDATを北陸3県
のみに限局
- 3月20日 県外JDAT派遣終了

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shimachi.html>

被災地からの避難（2次避難）について



災害対策本部員会議 第14回(1月7日)会議資料

いしかわ総合スポーツセンター(1.5次避難所) 及び産業展示館での歯科保健活動

1月19日～4月20日

曜日・時間	担当	メインアリーナ・産業展示館（ほぼ高齢者）	サブアリーナ（ほぼ自立）	マルチパーパスルーム（介護度高い人）
月曜日12:30～	固定		（口腔ケア）	口腔ケア
火曜日	なし			
水曜日14時～	金沢市歯	巡回	巡回	口腔ケア
木曜日14時～	金沢市歯	巡回	巡回	口腔ケア
金曜日12:30～	固定		（口腔ケア）	口腔ケア
土曜日14時～	金沢市歯+口腔保健センター	巡回		口腔ケア
日曜日9:30～	金沢市歯+口腔保健センター	巡回		口腔ケア

石川県歯科医師会は県民の皆様へのお口の健康の保持、増進に役立てていただくために、様々な活動を行っております。

石川県歯科医師会
Ishikawa Dental Association

石川県歯科医師会
会員専用ページ

トップページ
HOME

インフォメーション
Information

石川県歯科医師会
ida

石川県歯科医療専門学校
school

口腔保健医療センター
center

トピックス

HOME > トピックス > プレズリオン活動報道 > 災害歯科支援チームの活動「要介護高齢者エリアへの歯科保健医療支援」

災害歯科支援チームの活動「要介護高齢者エリアへの歯科保健医療支援」

投稿日：2024年1月21日 | 最終更新日時：2024年5月10日 | カテゴリー：プレズリオン活動報道

1月20日(土)、21日(日)の2日間、1.5次避難所であるいしかわ総合スポーツセンター」の要介護高齢者エリア(マルチパーパス)への歯科保健医療支援を実施しました。

そのうち、20日は石川県口腔保健医療センターより歯科衛生士2名を派遣し、入所者28名に対して口腔ケアを実施。また21日は口腔保健医療センター歯科医師2名、歯科衛生士2名、石川県歯科医師会より歯科医師2名を派遣し、入所者29名に対して口腔ケアを行いました。

同施設のサブアリーナおよびメインアリーナにおいては、エリア責任者の許可の下、「避難生活でのお口のケアのご案内」のポスターを随所に掲示し、口腔ケアの啓発を行いました。サブアリーナの責任者(DMAT医師)からは、「現在、サブアリーナでは要介護高齢者の避難者が増えています。今後はこちら側でも口腔ケアをお願いしたい。」との申し出もありました。



ポスターを掲示

インフォメーション

歯医者さん探しは
歯科navi

公益財団法人8020推進財団設立20周年記念
第18回フォーラム 8020
フォーカス！感染予防
～未来歯科医療の扉を開け～

歯科衛生士
応援 ひろば

歯科医療 求人情報
働いて
みませんか？

歯科医師会関連サイト
リンク集

能登半島地震1.5次避難所歯科保健医療救護活動



令和6年1月1日16時10分には能登半島地震に対して、石川県歯科医師会の役員が金沢市の「いしかわ総合スポーツセンター」に開設され、その後1月13日には「石川県産業展示館2号館」にも新たに1.5次避難所が開設されました。

金沢市内の状況は、1月8日に石川県より被災者を一時的に収容する1.5次避難所が金沢市の「いしかわ総合スポーツセンター」に開設され、その後1月13日には「石川県産業展示館2号館」にも新たに1.5次避難所が開設されました。

1月21日より活動を開始した基歯科医会の依頼で、1月21日に金沢市歯科医会役員4名が現場視察したうえで、基歯科医会、口腔保健医療センター、石川県歯科衛生士会と連携し、5日現場にて口腔ケア等の支援を行う事となりました。

それまでの間、「早く何でもいいから役に立ちたい!」との思いであったため、我々一同が土曜夜にその依頼に応じました。

1月20日(土) 第一日目のJDAT石川としての活動が、いしかわ総合スポーツセンターにおいて行われました。当会役員から4～5名と基歯科衛生士会より衛生士2名が派遣され1つのチームとなり口腔内の検査、虫歯処置、口腔ケア、歯科相談などを実施し、必要と思われる口腔ケアグッズを渡しました。どうしても治療が必要な方には、いしかわ総合スポーツセンター近隣の歯科医院を紹介するという形をとりました。

JDAT石川チームの中には、自ら被災者であるにも関わらず参加された先生もいらっしゃり、重の下がる思いでありました。

いしかわ総合スポーツセンターの中には被災者の介護度に応じて、マルチパーパス・サブアリーナ・メインアリーナの3会場に分けられていますが、介護度が高い人が入っているマルチパーパスの方が手厚い介護を受け口腔内の状況も比較的良好であり、遂に比較的高い介護度が高い人がいるサブ

アリーナや通常の避難者がいるメインアリーナ(テレビで放映されていたテントがある会場)の方が口腔衛生状態は悪いという皮肉な状況でありました。

いしかわ総合スポーツセンターだけでは収容人数が足りず石川県産業展示館にも被災者が入る事となり、それでもなお次々とバスから降りる被災者の方々を目にした時は「こんなに大勢の全ての人の対応が出来るのだろうか?」と不安に思いました。

最初の頃は要領を掴む時間がかかりましたが、次第に慣れていき被災者に先礼にならぬ程度に世間話も交えながらの口腔ケア活動になっていきました。

避難所では高齢の方が多くを占めており、テント生活で大変不便であり辛い気持ちであったとは思いますが、そういった様子は一向に見せずして笑って明るく元気に振舞っておられました。

ある高齢女性には手までも合わせて頂き「ありがと」と感謝され、こちらとしては恐縮するばかりでした。

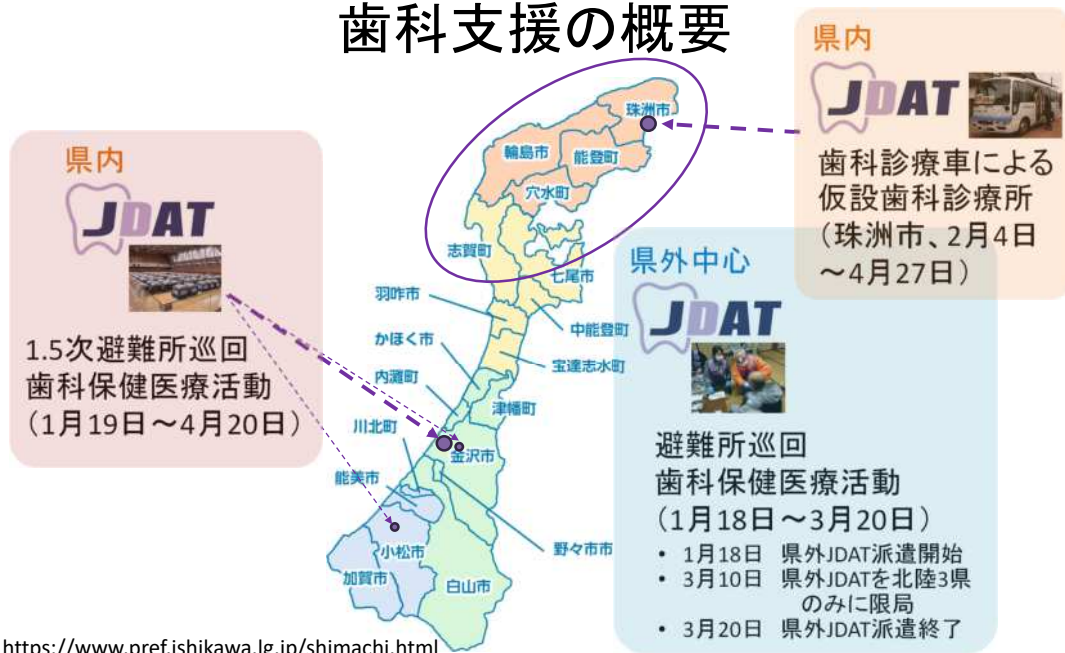
「施設はやさしや土までも」とは言え、こんな過酷な状況にあっても辛い感情を押し殺し、日本人としての矜持をもって、恥ずかしい行動は慎み明るく楽しく立派に生きている人の姿を見て、この避難所からは沢山の一人として個性豊かな被災者の方々の笑顔を見ていたのだなという思いが強くなりました。

また、産業展示館で活動した際に、食堂の方から日本の音楽「旅愁」が聞こえてきました。



報告(金歯会報第67号、2024年7月30日)

令和6年能登半島地震における 歯科支援の概要



(石川県)令和6年度 被災者歯科支援事業

実施主体

- 石川県が一般社団法人石川県歯科医師会に委託して実施
- 県健康推進課、能登中部保健福祉センター、能登北部保健福祉センターは、事業の実施にあたり、必要に応じて協力

支援対象

- 県内6市町(七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)

事業内容

- 被災市町は、支援要望書を記入し、管轄の保健福祉センターに提出
- 県歯科医師会が、被災市町からの支援要望書に基づいて調整
- ①仮設住宅等への個別訪問による口腔内の健康状態確認や歯科保健指導などの実施
- ②仮設住宅集会所等での歯科健康相談、歯科保健指導等の実施
- ③その他必要な支援(各種福祉施設への訪問による歯科保健指導等)
- ④上記の①から③の支援において把握された健康課題等の被災市町への報告

無料 令和6年度 **スタンプラリーで**
あなみず健康フェスタ
～みんなで楽しく健康づくり～

お楽しみ付

日程: 令和6年11月17日(日)
時間: 10時～12時
場所: さわやか交流館ブルート

2階 お口の健康を守る!
石川県歯科医師会による
無料歯科検診
ミニ講話・相談会

1階 からだの健康を守る!
★**野菜摂取量の測定**
★**深部静脈血栓症検査**
公立穴水総合病院 など
復興リハビリテーション

★**展示コーナー**もあるよ
食べに来てね♥
11時半開始
トマトキンパスタ
フードバンク提供の食材で作りました

★**健康チェック** 10時15分～11時～
★**「歩く脳トレ」**
★**スクエアステップ体験**
★**認知症相談会**
石川県健康友の会連合会

問合せ 子育て健康課52-3589 うらへー

～みんなで楽しく健康づくり～
スタンプラリーにチャレンジしよう

公立穴水総合病院 復興リハビリテーション	石川県看護協会
シール	シール
石川県健康友の会連合会	石川県歯科医師会
シール	シール
石川県栄養士会	展示コーナー
シール	シール

いくつかのコーナーを回って、スタンプを4個以上集めよう
最後は受付に持ってきて、お楽しみプレゼントと交換しよう

(参考) はっぴーフェスタ

歯と口の健康週間
歯ッピーフェスタ
6/16(土) 10:00～14:30

日本歯科医師会
お口の健康週間
を記念して
開催します

無料
入場料
無料

歯科検診
歯のクリーニング
歯のホワイトニング
歯の矯正相談
歯の審美歯科
歯の口腔外科
歯の小児科
歯の歯科材料
歯の歯科器具
歯の歯科衛生士
歯の歯科助手
歯の歯科診療
歯の歯科相談
歯の歯科治療
歯の歯科手術
歯の歯科検査
歯の歯科診断
歯の歯科予防
歯の歯科保健
歯の歯科教育
歯の歯科研究
歯の歯科開発
歯の歯科革新
歯の歯科未来

会場: 石川県立中央公民館
〒920-0001 石川県金沢市中央1-1-1
TEL: 076-234-1111



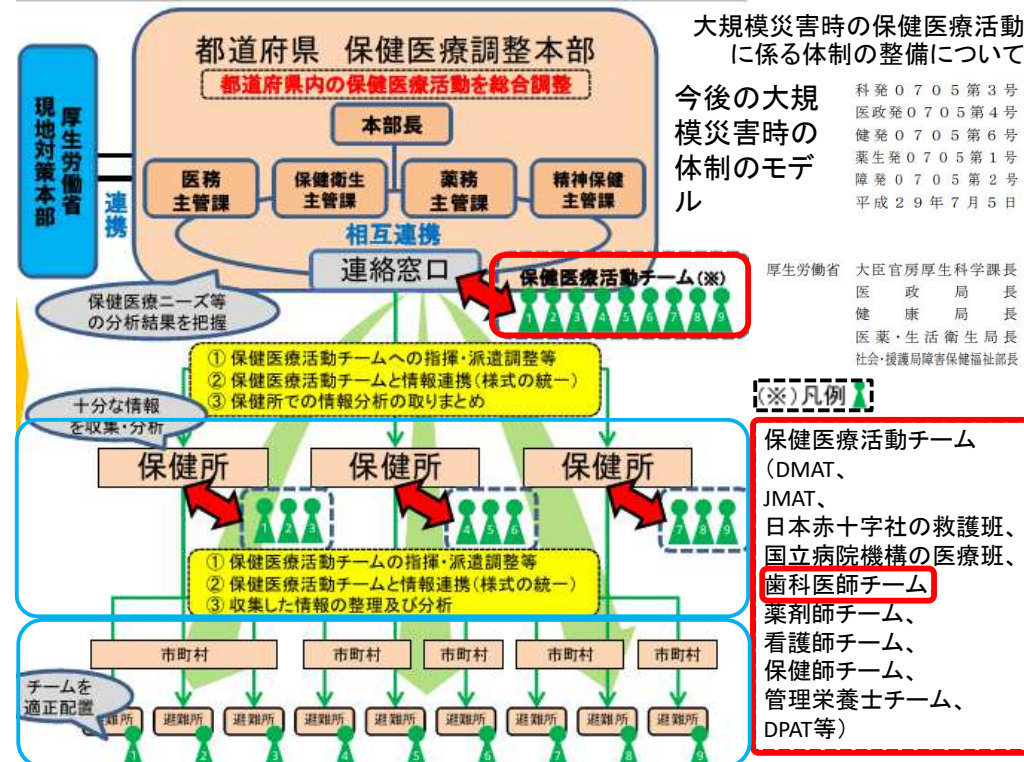
科発0705第3号
医政発0705第4号
健発0705第6号
薬生発0705第1号
障発0705第2号
平成29年7月5日

各都道府県知事 殿

厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
医政局長
健康局長
医薬・生活衛生局長
社会・援護局障害保健福祉部長
(公印省略)

大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について

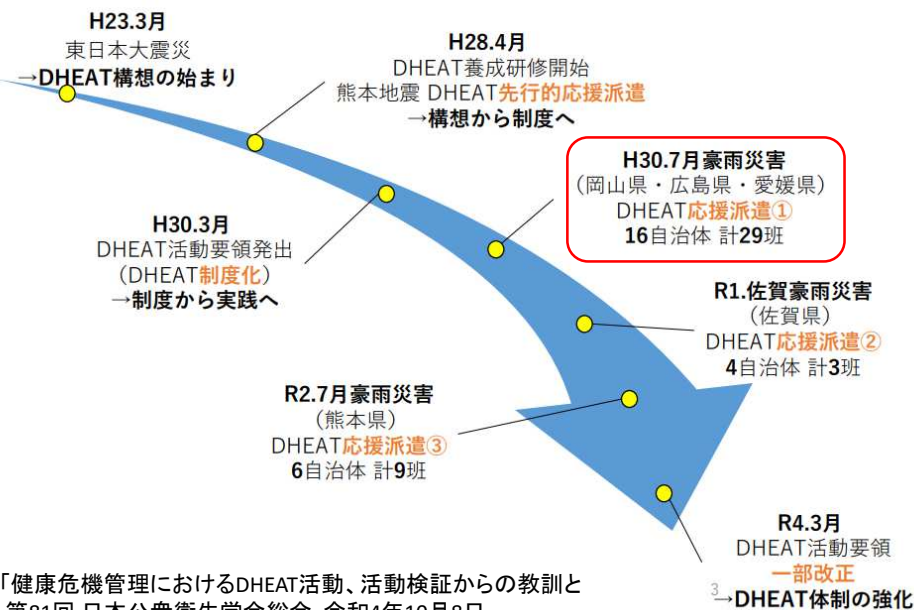
各都道府県における大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備に当たり、保健医療活動チームの派遣調整、保健医療活動に関する情報の連携、整理及び分析等の保健医療活動の総合調整を行う保健医療調整本部を設置することとした。



大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について
今後の大規模災害時の体制のモデル

科発0705第3号
医政発0705第4号
健発0705第6号
薬生発0705第1号
障発0705第2号
平成29年7月5日

DHEAT活動 これまでの歩み



服部 希世子, 「健康危機管理におけるDHEAT活動、活動検証からの教訓と今後の展望」, 第81回 日本公衆衛生学会総会, 令和4年10月8日
<https://www.phcd.jp/02/kenkyu/award/pdf/20221206.pdf>

各都道府県知事 殿

災害時の福祉支援体制の整備について

近年、東日本大震災や熊本地震、台風による土砂災害など、多くの自然災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしている。

こうした災害を受け、高齢者や障害者、子どものほか、傷病者等といった地域の災害時要配慮者が、避難所等において、長期間の避難生活を余儀なくされ、必要な支援が行われなかった結果、生活機能の低下や要介護度の重度化などの二次被害が生じている場合もある。

これらの者が、避難生活終了後、安定的な日常生活へと円滑に移行するためには、避難生活の早期の段階から、その福祉ニーズを的確に把握するとともに、可能な限りそのニーズに対応し、生活機能の維持を支援していく体制の構築が喫緊の課題となっている。

これまで、一部の都道府県においては、こうした観点から先進的な取組が進められているところであるが、全国において、このような災害時における緊急一時的な福祉支援体制の構築を一層推進するため、各都道府県が取り組むべき基本的な内容について、別添のとおり、「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン」を策定したので、各都道府県におかれては、本ガイドラインを参考に、地域の実情にあった災害時の福祉支援体制の構築に努めるとともに、管内市区町村や関係団体等に対し、周知を図られたい。

(改正後全文)
社援発0531第1号
平成30年5月31日
一部改正 社援発0331第33号
令和5年3月31日
一部改正 社援発0624第5号
令和7年6月24日

厚生労働省社会・援護局長
(公印省略)

大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について、令和4年7月22日 に加筆

災害時の保健医療福祉支援における JDATとその課題

- 令和6年能登半島地震におけるJDAT及び歯科保健医療支援の全体像
- 災害時の保健医療体制の変遷
- JDATの位置づけと目的
- JDATが効果的な支援となるために

JDAT（Japan Dental Alliance Team： 日本災害歯科支援チーム）

（下線、太字は追記）

【目的・趣旨】（抜粋）

JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね 72 時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、避難所等における応急歯科診療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としている。

大規模災害時には、公益社団法人日本歯科医師会（以下、「日本歯科医師会」という。）が基幹事務局となり組織する日本災害歯科保健医療連絡協議会（以下、「連絡協議会」という。）として、被災地域の都道府県の派遣要請を踏まえた厚生労働省からの要請に基づき JDAT を派遣し、被災地域に人的支援や物資の支援等を行う。

JDAT活動要領2025年3月（第2版） https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/pdf/JDAT_v02.pdf

日本災害歯科保健医療連絡協議会※平成27年4月設置

<目的>

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、（急性期から慢性期に）に至るまで、様々な歯科関係職種が継続的な支援が必要である。

そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、協議していく。

<参画団体>

- ①日本歯科医師会
- ②日本歯科医学会
- ③日本私立歯科大学協会
- ④国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
- ⑤全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- ⑥日本病院歯科口腔外科協議会
- ⑦日本歯科衛生士会
- ⑧日本歯科技工士会
- ⑨全国行政歯科技術職連絡会
- ⑩日本歯科商工協会

※オブザーバー：内閣府、厚生労働省、日本医師会（JMAT関係者）、防衛省ほか



- JDAT（日本災害歯科支援チーム）は、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士などによるチームです。
- 避難所や高齢者施設等において、応急歯科治療や口腔衛生の確保・口腔機能の維持をサポートします。



歯科相談 応急歯科治療

近隣の歯科診療所が再開するまでの間、痛みをとる、食べやすくする、などの応急治療を行います。

- ・ 歯が痛い、口内炎ができた
- ・ 入れ歯が痛い、ゆるい
- ・ 歯の詰め物がとれた
- ・ 食事が食べにくい、むせる



歯科保健活動

歯や口のお困りごとを確認し、災害時の生活における工夫の仕方をおひとりおひとりの状態にあわせてご紹介・ご説明し、必要な歯みがき用品をご提供します。災害時のお口のケアが、肺炎などのからだの病気を予防することなども、あわせてお伝えします。

- ・ お水が少ない時の歯みがきの工夫
- ・ お口が乾きやすい時のマッサージ方法



【集団】 お口の健康づくり

皆さんがお集まりの場所で、歯や口からの健康の保ち方をご説明したり、お口の体操をしたりします。

- ・ お口の体操
- ・ 歯や口と健康 講和



地域の歯科医療 提供体制の再構築

地域の歯科診療所の再開状況にあわせて、治療が必要な方を診療所に繋ぎます。

これらの支援を通じて、被災した地域が日常を取り戻すためのお手伝いをさせていただきます。歯や口に関することで、お困りのことやご希望がありましたら、遠慮なくご相談ください。歯みがき用品の提供を含め、全て無料です。

<連絡先> **歯科医師会 ** * - * * * - * * * *

JDAT チーム構成・期間のイメージ

【構成(例)】

歯科診療所休診時期(活動開始時)

歯科医療救護チーム

歯科医師2、事務職1

歯科医師2、歯科衛生士1、歯科技工士1

歯科診療所再開時期

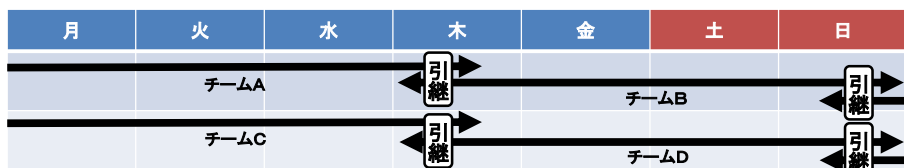
歯科保健支援チーム

歯科医師2、歯科衛生士2

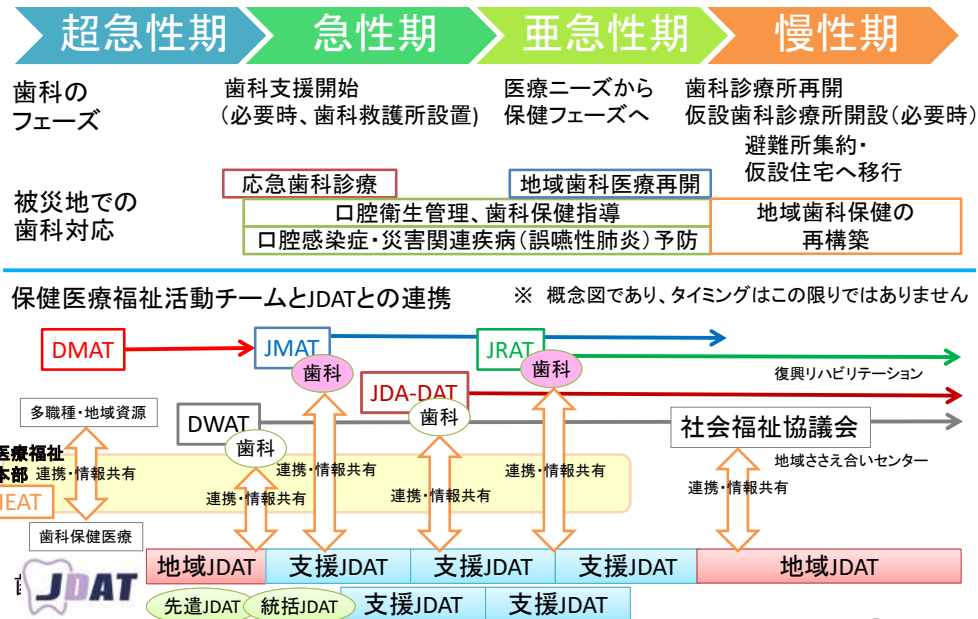
歯科保健支援チーム

歯科医師1、歯科衛生士2~3

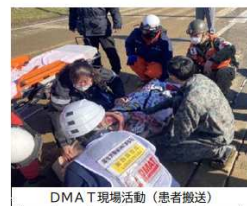
【期間(例)】 4日間程度/チーム



保健医療福祉活動チームとJDATとの連携



保健・医療・福祉の活動チームによる支援(主なもの)



DMAT (ディーマット: 災害派遣医療チーム)
Disaster Medical Assistance Team

DPAT (ディーパット: 災害派遣精神医療チーム)
Disaster Psychiatric Assistance Team

JMAT (ジェイマット: 日本医師会災害医療チーム)
Japan Medical Association Team

JDAT (ジェイダット: 日本災害歯科支援チーム)
Japan Dental Alliance Team

DHEAT (ディーヒート: 災害時健康危機管理支援チーム※)
Disaster health emergency assistance team

DWAT (ディーワット: 災害派遣福祉チーム)
Disaster Welfare Assistance Team

JRAT (ジェイラット: 一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会)
Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team

JDA-DAT (ジェイディーエダット: 日本栄養士会災害支援チーム)
The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team

DICT (ディーアイシーティー: 災害時感染制御支援チーム)
Disaster Infection Control Team

日赤救護班 (日本赤十字社)

保健師等チーム (自治体職員)

等

医療

心理

医療

歯科

保健

福祉

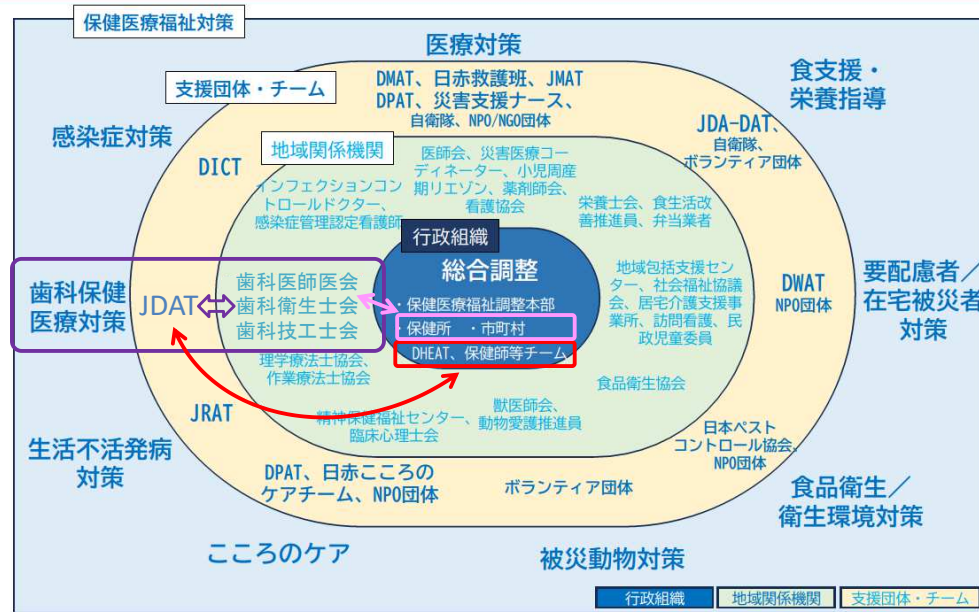
リハ

栄養

保健

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、
「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

災害時の主な保健医療福祉活動(施策)と関係団体【例】



出典: DHEAT活動ハンドブック(第2版)(令和5年3月)67頁より引用・編集

災害時の保健医療福祉に関する横断的な支援体制の構築について、
「令和6年度健康危機における保健活動推進会議」令和7年1月21日

DHEAT 活動理念と役割

- DHEATの活動理念は「防ぎ得た死と二次健康被害を最小化すること」、「(被災地が)できる限り早く通常の生活を取り戻すこと」にあります。
- DHEATの役割は、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部及び保健所(保健所支援としての市町村支援を含む。)における指揮調整(マネジメント)機能の支援です。

DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム): Disaster Health Emergency Assistance Team
一定規模以上の災害が発生した際に、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部及び保健所が担う指揮・総合調整(マネジメント)機能等を支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成される応援派遣チーム



V. 活動の実際 2. 災害時保健医療福祉活動

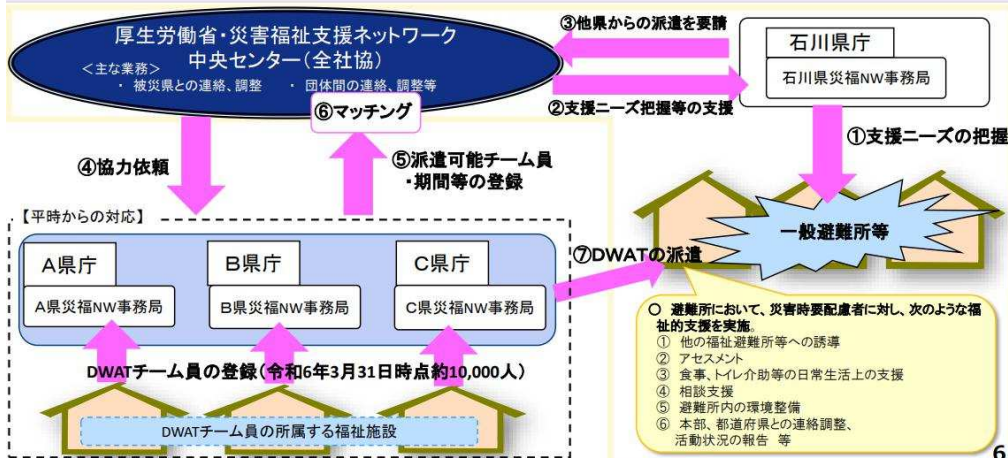


1. 医療対策
2. 避難所運営支援
3. **歯科保健医療対策**
4. 感染症対策
5. 食支援・栄養指導
6. 生活不活発病対策
7. 車中泊・深部静脈血栓症(DVT)対策
8. 在宅被災者支援
9. 要配慮者支援(高齢者、母子、障がい者)
10. こころのケア
11. 衛生環境対策
12. 食品衛生対策
13. 被災動物対策
14. 御遺体の取扱いに係る対応

DHEAT活動ハンドブック(第2版) 令和5年3月
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000998894.pdf>

令和6年能登半島地震におけるDWATの活動について

- 災害派遣福祉チーム(DWAT)は、
 - ① 都道府県単位で、平時の段階から、施設関係団体や介護福祉士等の職能団体、社会福祉協議会等からなるネットワークを組織し、
 - ② 当該ネットワークに参加する団体や施設等から、介護福祉士や社会福祉士、ケアマネジャー等の職員を派遣し合うことにより、編成され、
 - ③ 避難所において、食事やトイレ介助、避難生活中の困り事に関する相談支援、段差の解消や授乳スペースの確保等避難所内の環境整備等福祉的な視点からの支援を行い、要配慮者の要介護状態の重度化、災害関連死などの二次被害を防止するとともに、安定的な日常生活への移行を支援。
- DWATの広域派遣調整については「災害福祉支援NW中央センター事業」として全国社会福祉協議会が国の委託事業として実施している。
- 1/6(土)に中央センター職員と群馬県のDWAT先遣隊を石川県へ派遣し活動を開始、1/8(月)から群馬県、静岡県、京都府から先遣隊を金沢市内に設置した1.5次避難所へ派遣し、活動を開始。



資料2 災害時の被災者支援との連携について、第7回地域共生社会の在り方検討会議、厚生労働省社会・援護局、令和6年12月26日(木)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_48043.html

令和6年能登半島地震におけるDWATの展開

初動

- 1月1日 発災
- 1月2日 石川県庁 石川県DWATチーム員へ派遣に係る調査
- 1月4日 厚労省、石川県、全社協によるとオンライン会議
- 1月5日 石川県から全都道府県へDWAT派遣要請
- 1月6日 全社協、石川県庁入り 活動方針検討
- 1月8日 DWATチーム活動開始



- 活動期間 1月6日～6月30日
- 活動人数 のべ1,573名(6,097人日)
- ※全都道府県のDWATチームが展開した初の実践
- 1～3月1.5次避難所 596人(2,504人日) 中能登、奥能登 809人(3,030人日)
- 4～6月1.5次避難所 168人(563人日) (能登地域はオンコール体制)

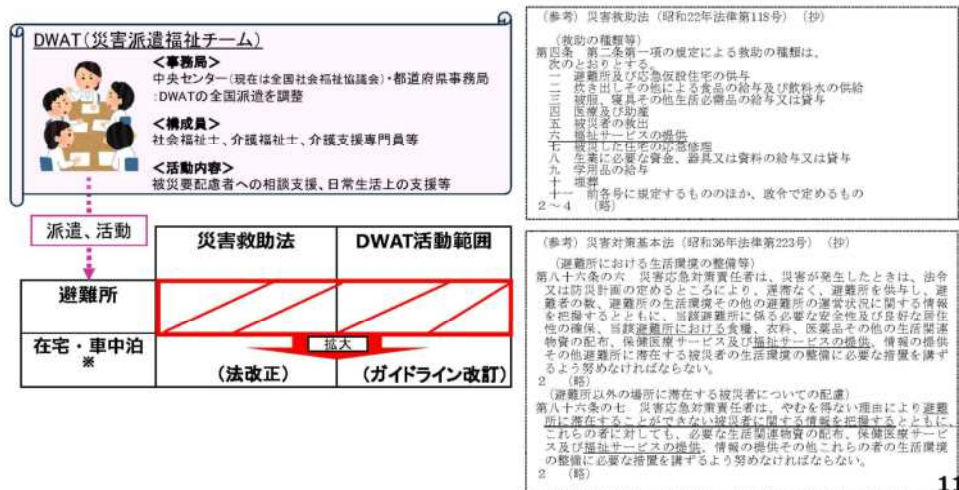
- 【DWATの活動例】
- ① 認知症高齢者を抱える家族が避難所で孤立化している状況をDWATが把握したことで、地域包括支援センターに連絡し、介護サービス提供に繋がった。
- ② 障害児が避難所内でパニックを頻発し、母子が孤立するなか、DWATが提案して、避難所内に落ち着けるスペースの確保を行った。
- ③ 避難所内で対立する住民同士間にDWATが仲立ちし、居所移転の共同作業を進めることで、支えあう関係を構築した。など

資料2 災害時の被災者支援との連携について、第7回地域共生社会の在り方検討会議、厚生労働省社会・援護局、令和6年12月26日(木)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_48043.html

避難者に対する福祉的支援の充実

- 高齢者等の要配慮者である在宅避難者や車中泊避難者など多様な支援ニーズに対応するため、災害救助法における救助の種類に「福祉サービス」を追加するとともに、福祉関係者との連携を強化。
- これまで、DWAT（災害派遣福祉チーム）による福祉的支援は避難所で行う旨規定されているが、今般、在宅、車中泊で避難生活を送る要配慮者に対しても、福祉的支援を充実。

※ 災害救助法や災害対策基本法の改正と、厚生労働省ガイドラインの改訂（DWATの活動範囲の拡大）にて対応（令和7年7月1日施行）



資料1 災害に備えた福祉的支援体制について、第30回社会保障審議会福祉部会、厚生労働省社会・援護局、令和7年10月21日
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_64916.html



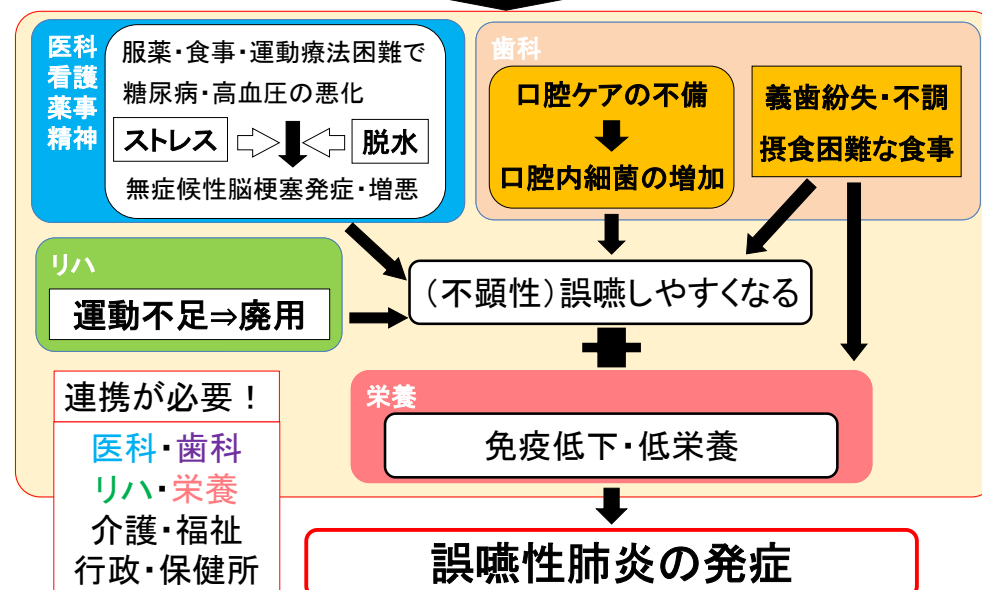
震災関連死因、呼吸器・循環器系疾患が5割超

2017/9/26 21:55 熊本日日新聞

震災関連死189人の主な死因（8月末現在、県中間まとめ）

分類	人数	割合(%)
呼吸器系の疾患（肺炎、気管支炎など）	53	28.0
循環器系の疾患（心筋梗塞、くも膜下出血など）	50	26.5
内因性の急死、突然死	28	14.8
自殺	16	8.5
感染症（敗血症など）	14	7.4
腎尿路生殖器系疾患（腎不全など）	6	3.2
消化器系疾患（肝不全など）	3	1.6
その他（アナフィラキシーショック、出血性ショックなど）	19	10.0
合計	189	100.0

災害時の環境： ライフライン不備、食糧・水不足、睡眠・トイレ不足



足立了平、岸本裕充、門井謙典. 大規模災害における気道感染予防の重要性. 日本口腔感染症学会雑誌. 2012; vol. 19-1 より改変
中久木康一. 令和元年度九州地区連合歯科医師会研究事業・災害口腔医学研修会資料より

災害後の体調不良

呼吸器感染症、
胃腸炎等の
急性疾患
(発災～1ヶ月)

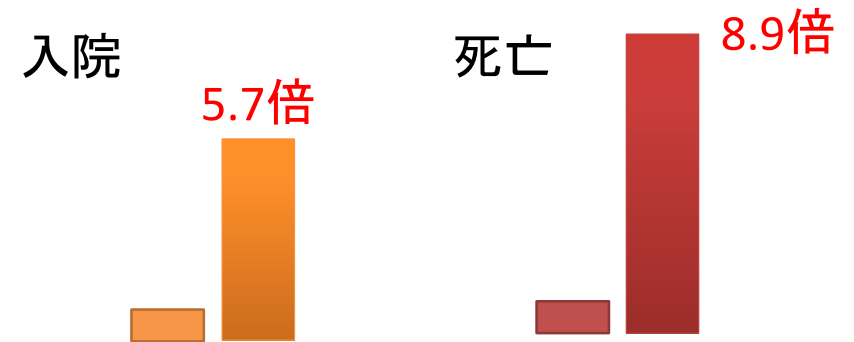
直後に多い！
だんだん減ってくる

時間が経っても
じわじわ増え続ける

高血圧、腰痛、
皮膚炎、不眠症等の
慢性疾患
(発災後1ヶ月～)

肺炎の発生率は、3カ月間有意に増加

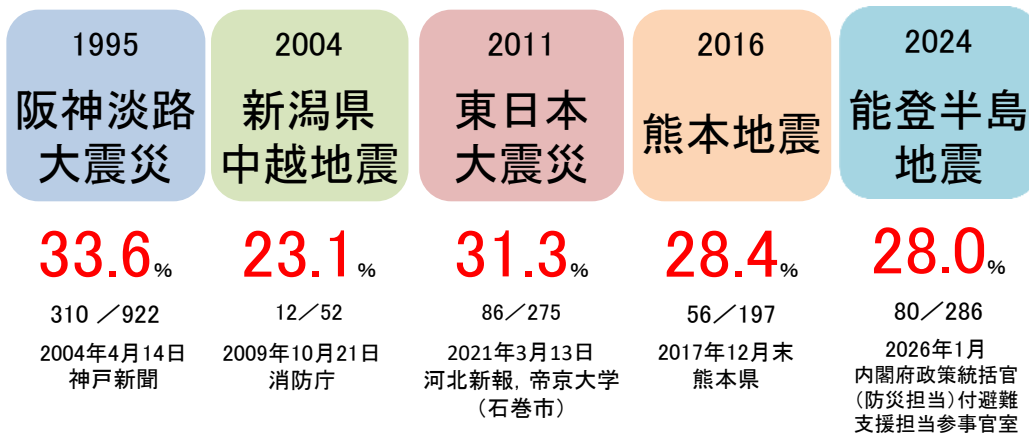
最大の増加を示したのは震災後2週間



- 90%は65歳以上の高齢者
- 避難所・介護施設からの入院患者数が多かった
- 死亡率は、介護施設からの入院は45%！

Daito H, et. al., Impact of the Tohoku earthquake and tsunami on pneumonia hospitalisations and mortality among adults in northern Miyagi, Japan: a multicentre observational study. Thorax. 2013 Jun;68(6):544-50. doi: 10.1136

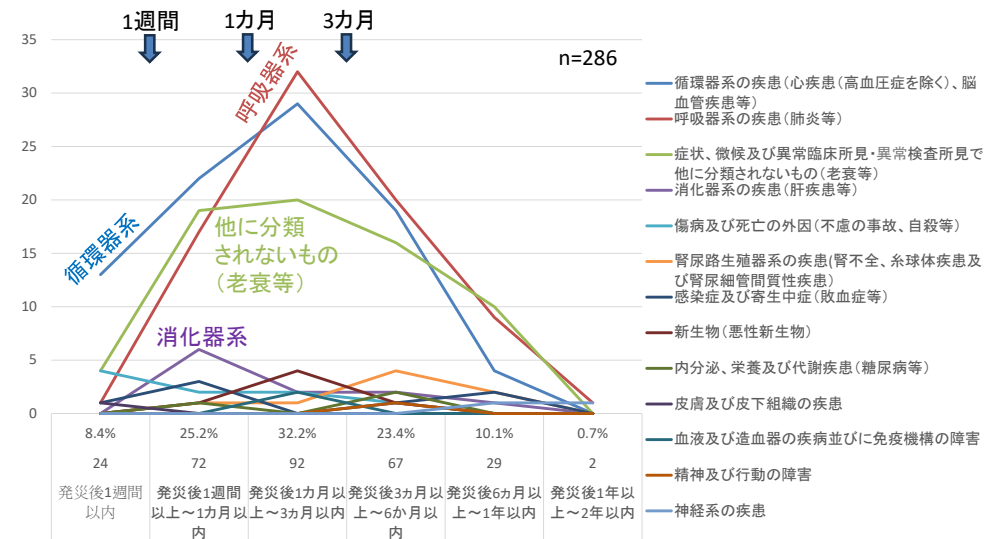
呼吸器疾患＝災害関連死の30%



災害関連疾病の予防を目的とした災害時
要配慮者等に対する健康支援活動が重要

令和6年能登半島地震の災害関連死数(死因・時期別)

(第34回災害弔慰金等認定審査会(市町村合同開催, 令7年10月22日)までに認定された286件)



令和6年能登半島地震において災害関連死として認定された事例及び認定されなかった事例
(災害関連死事例集)(令和8年1月)

<https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/kanrenshijirei.html>

より作図

自宅か施設かで死因に相違

- 南相馬市の関連死520件のうち、発災時に自宅にいたグループは循環器系疾患と悪性新生物で亡くなった方が多かったのに対し、**病院・施設にいたグループは呼吸器疾患と老衰が死因の多くを占めていた**
- 障がい者を含む群は他の群と比べ、発災後から亡くなるまでの期間が長かった**

年余にわたる災害関連死、住民背景に応じた対策必要 東日本大震災後・原発事故後の南相馬市の教訓から
m3.com レポート 2024年4月20日 (土) 松本智紘(福島県立医科大学放射線健康管理学講座)

Yoshimura H, et. al., Categorization of disaster-related deaths in Minamisoma city after the Fukushima nuclear disaster using clustering analysis. Sci Rep. 2024 Feb 5;14(1):2946. doi: 10.1038/s41598-024-53165-2. Erratum in: Sci Rep. 2024 Feb 20;14(1):4218. PMID: 38316846; PMCID: PMC10844307.

半数が要介護認定者

- 南相馬市で災害関連死として認定された死亡者で、要介護認定について確認できた方々のうち、**約半数(51.3%)が介護認定を受けていた**
- 要介護認定を受けている方々の死因として多いのは循環器系疾患と呼吸器系疾患であり、**特に介護度5では呼吸器疾患、特に誤嚥による死亡が多い**

年余にわたる災害関連死、住民背景に応じた対策必要 東日本大震災後・原発事故後の南相馬市の教訓から
m3.com レポート 2024年4月20日 (土) 松本智紘(福島県立医科大学放射線健康管理学講座)

Moe Kawashima, et. al., Association between the deaths indirectly caused by the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident (disaster-related deaths) and pre-disaster long-term care certificate level: A retrospective observational analysis. International Journal of Disaster Risk Reduction, Volume 96, 2023, 103989, ISSN 2212-4209.

災害関連死の理由

認定の主な事例

- 自宅で被災し、ライフラインの途絶等の生活環境の変化により心身に相当の負荷が生じ亡くなった
- 病院や施設で被災し、生活環境の変化や移動、転院等により体力が低下し亡くなった

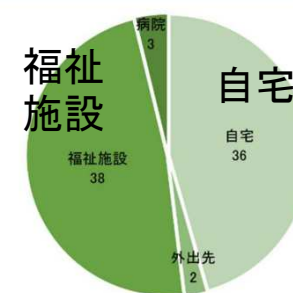
- 認定された79事例の、性別、既往症の有無、亡くなられた年齢、亡くなられた時期、亡くなられた時の周辺環境、亡くなられた理由とされたこと等の内訳は次頁のとおり。(死亡の経過は資料編Ⅲ-95参照)
- 災害関連死認定された方(79人)のうち、約半数(38人)が自宅や外出先で被災されており、そのうち10人は、自宅で避難生活を継続され、このほか9人も一度避難所へ避難したあと、自宅へ戻って避難生活をされていた。建物被害や断水等の影響で、震災前の生活環境とは異なる環境で過ごさざるを得なかった。

【集計結果】能登町における災害関連死にかかるデータ

A 被災した場所

1	自宅	36
2	外出先	2
3	福祉施設	38
4	病院	3
	合計	79

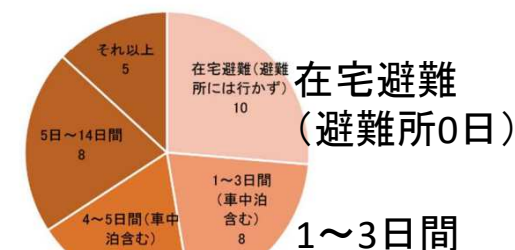
被災した場所



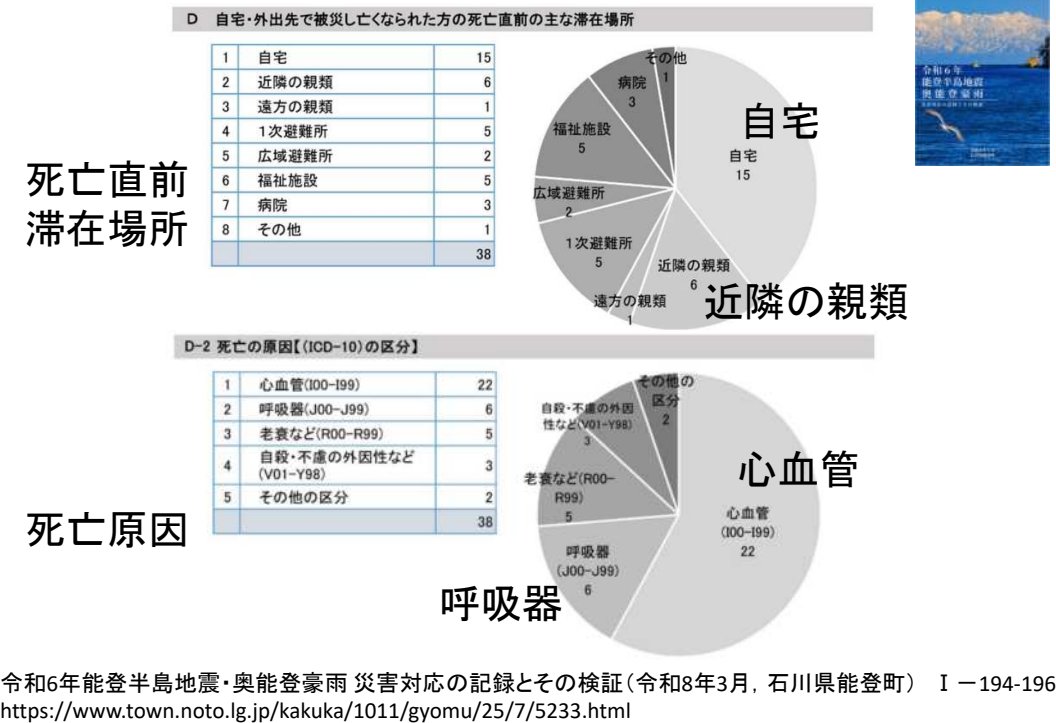
B 自宅・外出先で被災し災害関連死で亡くなられた方の避難所での滞在日数

1	在宅避難(避難所には行かず)	10
2	1~3日間(車中泊含む)	8
3	4~5日間(車中泊含む)	7
4	5日~14日間	8
5	それ以上	5
	合計	38

避難所滞在日数

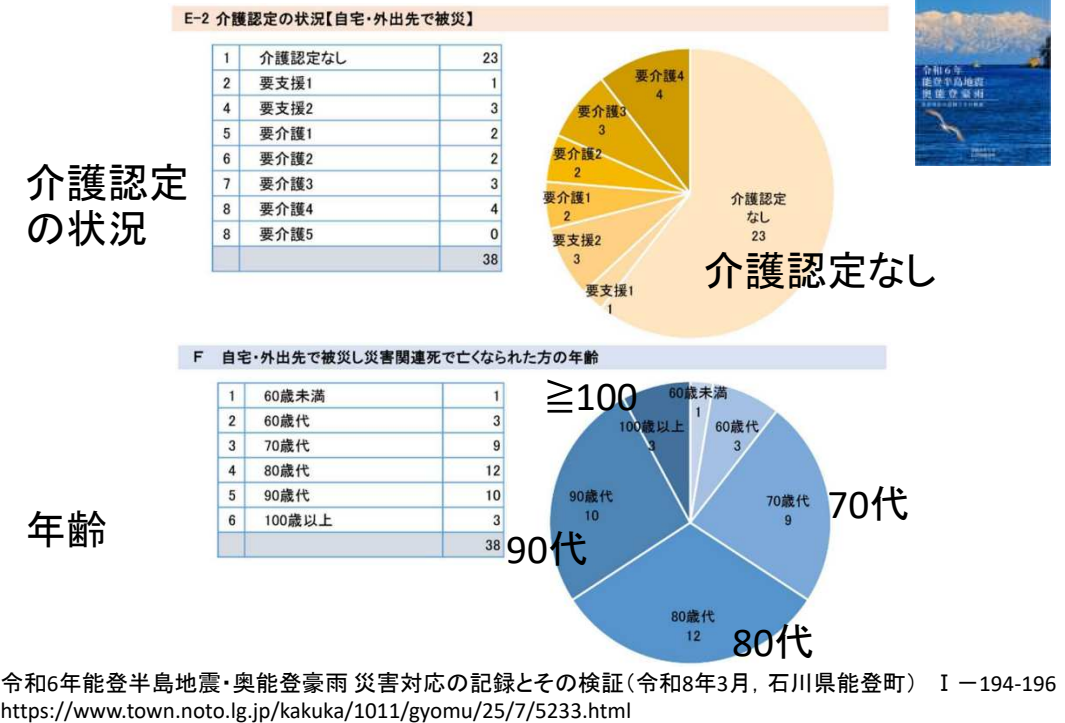


【集計結果】能登町における災害関連死にかかるデータ



令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 災害対応の記録とその検証(令和8年3月, 石川県能登町) I -194-196
<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/1011/gyomu/25/7/5233.html>

【集計結果】能登町における災害関連死にかかるデータ



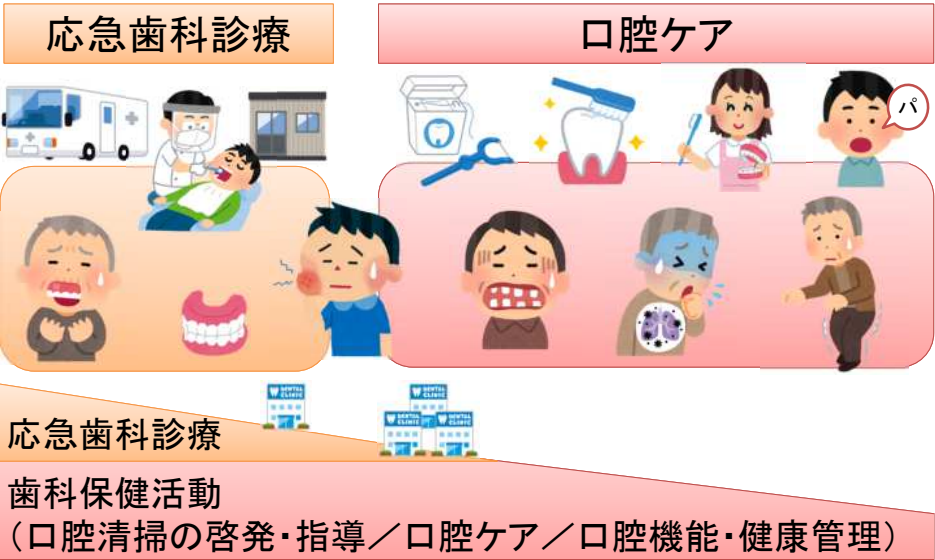
令和6年能登半島地震・奥能登豪雨 災害対応の記録とその検証(令和8年3月, 石川県能登町) I -194-196
<https://www.town.noto.lg.jp/kakuka/1011/gyomu/25/7/5233.html>

災害時の口腔ケア

時期	対象	場所	問題点	内容	対応者
超急性期 ～急性期	有病者	病院	易感染性	徹底した 個別口腔ケア の提供	看護師, 歯科衛生士, 歯科医師, など
超急性期 ～中長期	要配慮者	福祉避難所／ 高齢者・障害者 施設	介護力ダウン, ライフライン ダウン	個別口腔ケ ア・指導, 口腔ケア用品 の提供	歯科衛生士, 歯科医師, 言語聴覚士, 介護福祉士, など
		在宅	孤立(情報 不足, 交通 手段不足)		
急性期 ～慢性期	一般	避難所	環境の不備 (洗面所, う がい水, な ど)	口腔ケアの啓 発, 口腔ケア用品 の提供	歯科衛生士, 歯科医師, 保健師, など
慢性期 ～中長期	一般 要配慮者	応急仮設住宅 災害公営住宅	孤立(情報 不足, 交通 手段不足)	口腔ケアの啓 発, 口腔機能 の維持・向上	歯科衛生士, 保健師, など

「歯科医院の防災対策ガイドブック」医歯薬出版 より改変

災害時の歯科の活動



歯科の新常識「災害時の歯科活動」, LION Dent.File vol.57, 2025May
日本災害時公衆衛生歯科研究会HPに転載許可を得て転載 <https://jsdphd.umin.jp/forcitizens.html>

口腔健康管理/口腔機能管理

清潔を保って
疾病予防！

口腔健康/機能管理

口腔ケア 歯科治療 口腔体操

しっかり噛んで
飲み込める！

口腔内細菌 増殖予防

歯科疾患の予防

口腔内の感染症の予防

唾液分泌量/筋力維持

適切な咀嚼/摂食/嚥下
機能維持
(適切な栄養摂取可能な状態)

肺炎/続発症予防・適切な栄養摂取

【寄稿】能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続
2025.04.08 医学界新聞: 第3572号, https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2025/3572_05

市町村への歯科保健医療“県外”支援

	県内	県外	県外 人的派遣調整	県外 派遣単位
東日本大震災	歯科支援チーム (全国)	厚労省/日歯		1W
平成28年熊本地震	口腔機能支援チーム (九州沖縄山口)	福岡県歯 (ブロック幹事県歯)		1W(ただし前 後2チーム)
平成29年九州北部豪雨	歯科チーム (3大学)			
平成30年7月豪雨	歯科チーム	(県内)		
北海道胆振東部地震	歯科チーム (2大学)	被災県歯		日帰り
令和元年台風15・19号	歯科チーム			
令和2年7月豪雨	歯科チーム			
令和6年能登半島地震	JDAT (全国)	日歯		多種多様

災害時の保健医療福祉支援における JDATとその課題

- 令和6年能登半島地震におけるJDAT及び歯科保健医療支援の全体像
- 災害時の保健医療体制の変遷
- JDATの位置づけと目的
- JDATが効果的な支援となるために



県外JDAT派遣先市町村と
派遣チーム数(127)



- 1チームは、3市町村で活動
- 1チームは活動拠点の物資整備のみ
- 派遣日数はまちまちで、隣県からの日帰りでの派遣もあった

派遣日数	チーム数
1	35
2	7
3	21
4	43
5	15
6	3
7	3
8	1

能登北部医療圏における
人口と歯科診療所数

	歯科 診療所	人口	人口高 齢化率
輪島市	12	22,000	46%
珠洲市	5	12,000	52%
能登町	5	14,000	50%
穴水町	4	7,000	49%

- 1月18日 県外JDAT派遣開始
- 3月10日 県外JDATを北陸3県
のみに限局
- 3月20日 県外JDAT派遣終了

県内JDATによる活動

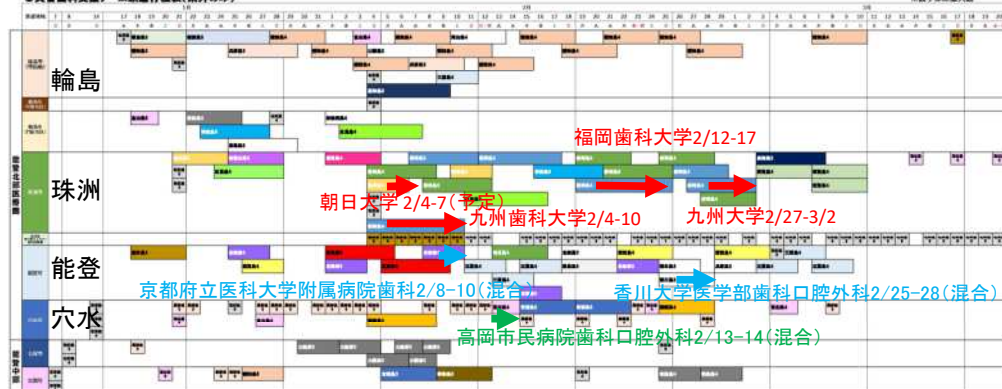
- 歯科診療車による仮設診療所
(珠洲市、2月4日～4月27日)
- 1.5次避難所巡回歯科保健医療
活動(1月19日～4月20日)

※ 県内JDATには県内医大歯科や病院歯科も参加



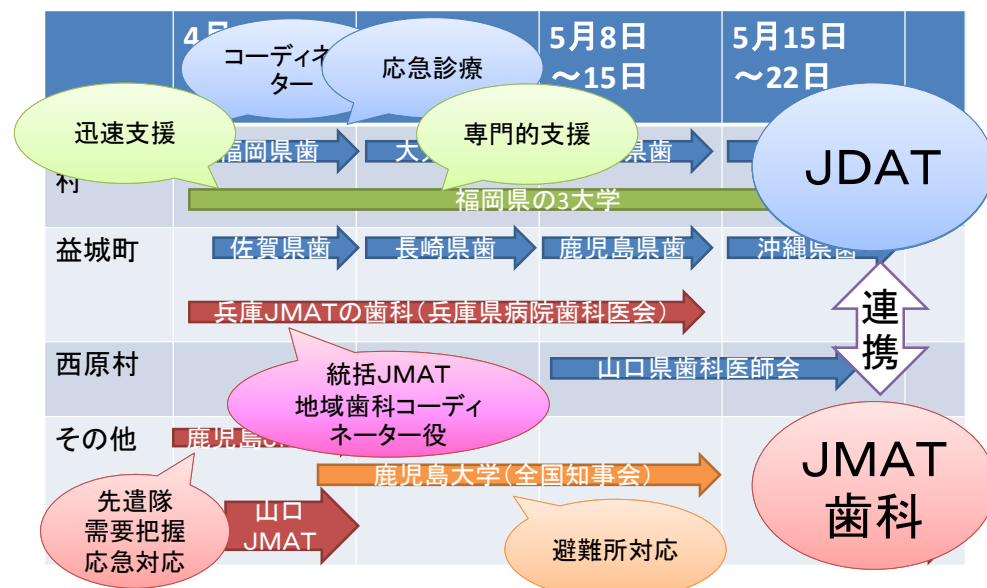
県外JDAT 派遣先別一覧

※災害歯科支援チーム派遣行先表(県外のみ)

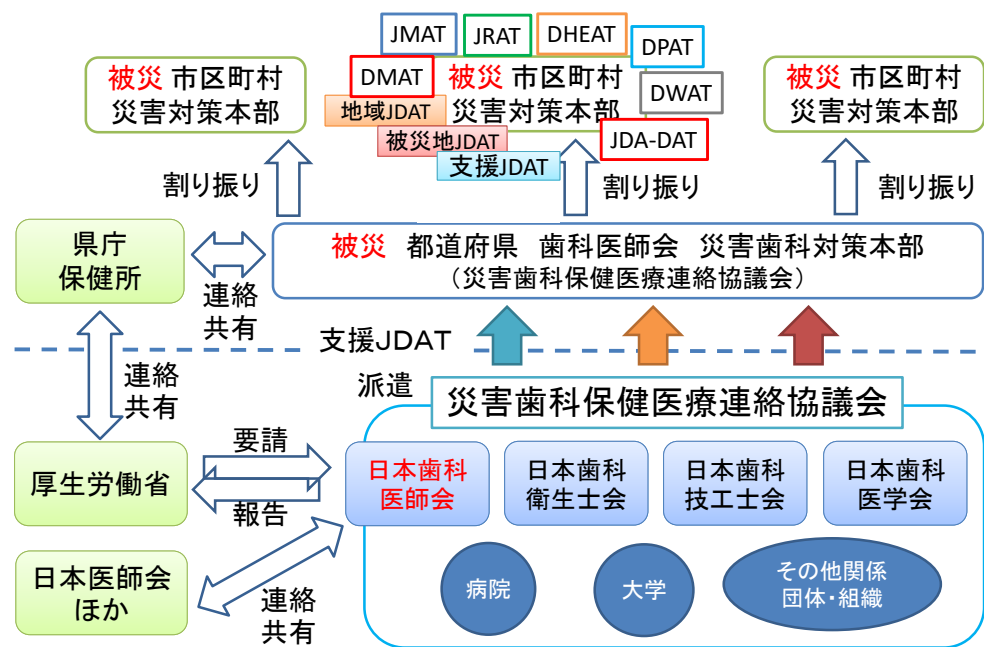


派遣元 派遣期間	チーム数 (のべ)	人数 (のべ)	職種の内訳(のべ)					派遣期間	活動期間	派遣期間 全日数	活動期間 全日数
			歯科 医師	歯科 衛生士	歯科 技工士	事務職	その他				
県内+県外 1/7~4/27	363	1,322	803	459	12	45	3	県外のみ 1/18 ~3/20	1/19 ~3/20	405 (100%)	253.5 (63%)
県外のみ 1/18~3/20	127	482	273	149	12	45	3				
		100%	57%	31%	3%	9%	1%				

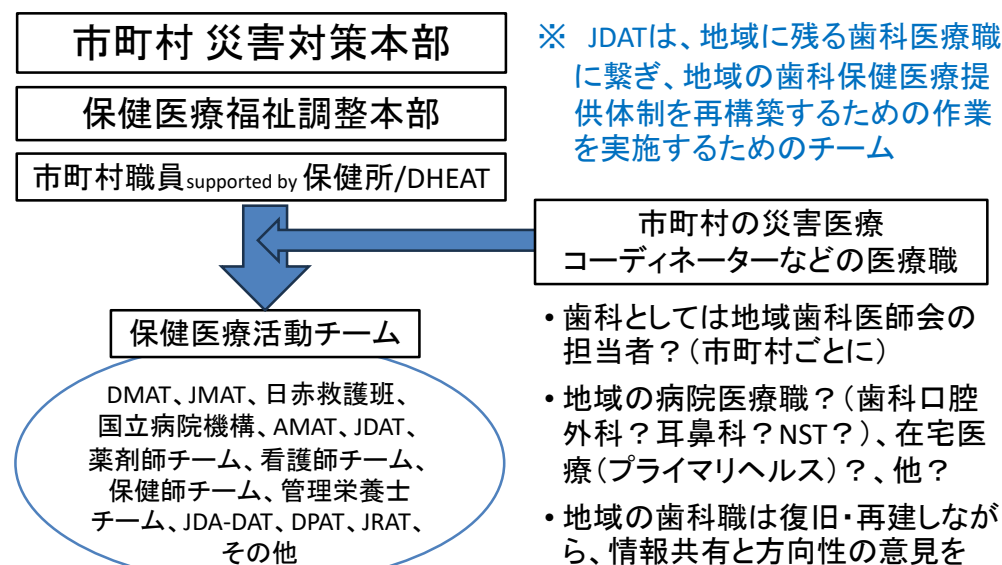
平成28年熊本地震 歯科支援 外部派遣チーム一覧



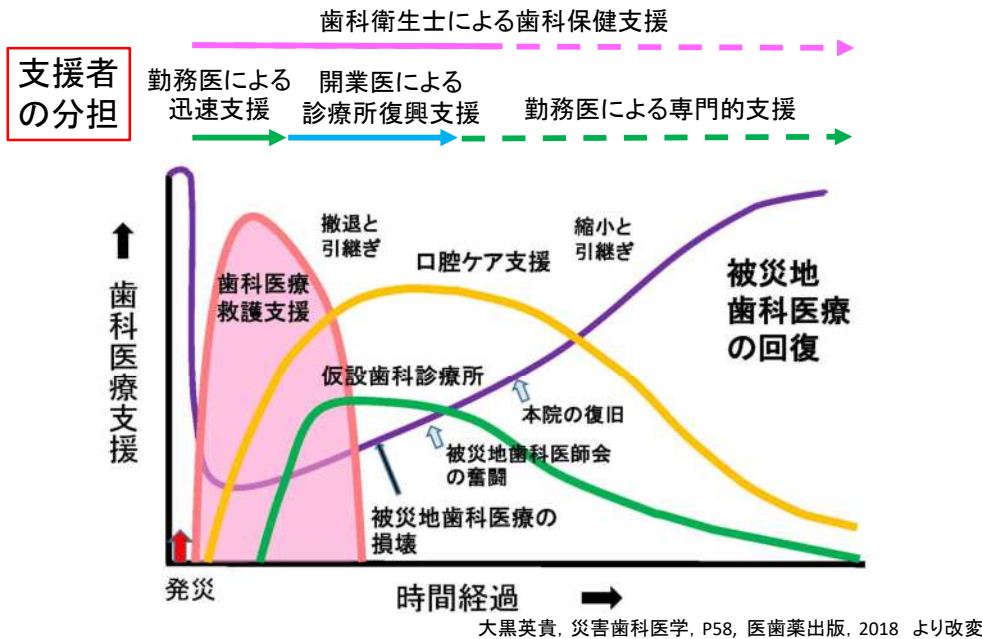
被災自治体に対する人的歯科支援(JDAT)



市町村におけるJDATのコーディネート



支援内容の時間経過と、支援者における負担



障害者歯科施設に期待されること

- ・災害発生時に、受診中の方を守る
- ・災害時でも、受け入れ、相談、情報発信の窓口となり続ける
- ・場合により、資器材の提供、場所の提供など

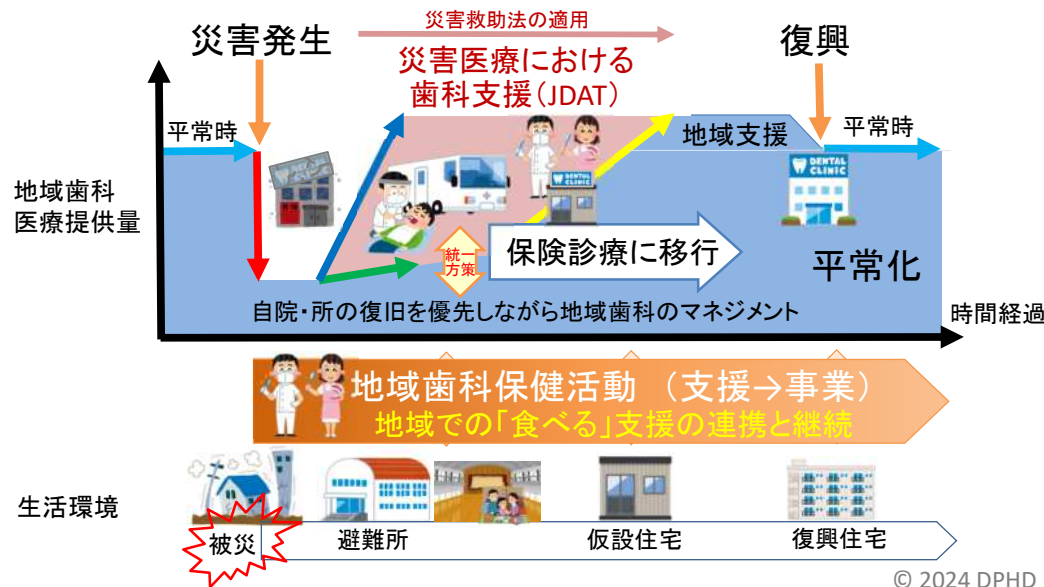
日本障害者歯科学会に期待されること

- ・災害発生時の情報の中継点となり、ニーズを拾い上げて支援に繋ぐ
- ・必要に応じて独自チームを編成して継続派遣する
- ・現実的には多人数を派遣するよりも少人数を継続派遣して繋ぎ、JDAT等の歯科支援チームと連携して障害者の口腔健康管理に関する体制整備や指導を行う

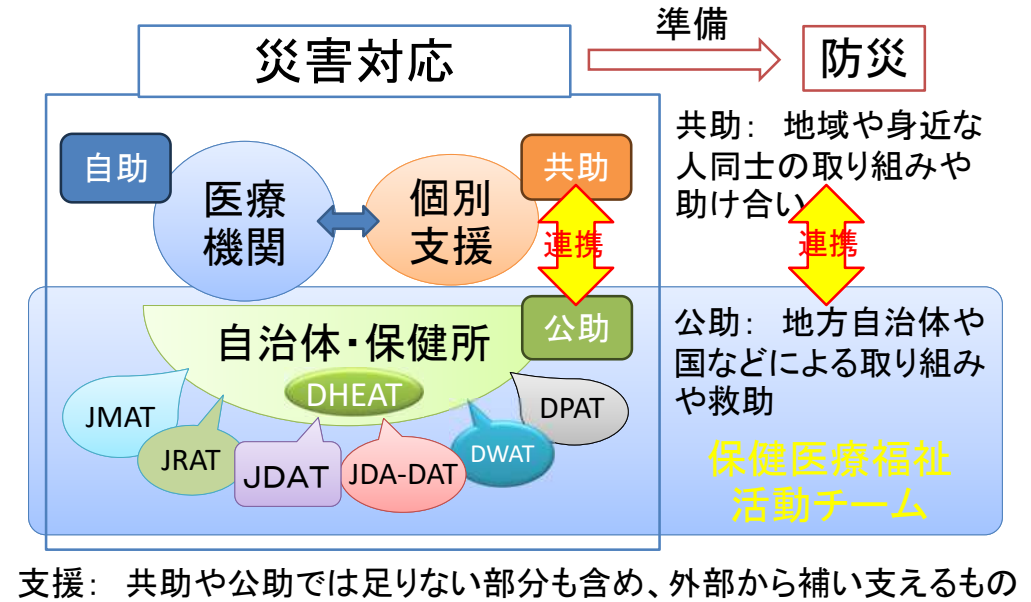
障害者歯科専門職に期待されること

- ・障害者施設(入所・通所)の情報収集、支援
- ・DWATなどの福祉関係者との連携、窓口となってJDAT等の歯科支援が効果的に活用される体制を構築してマネジメントする

支援活動の移行 (災害医療→保険医療, 支援活動→地域事業)



災害保健医療支援における関係者



災害対応 → 対策・防災



熊本地震被災者応援ブック(内閣府) https://www.kantei.go.jp/jp/headline/pdf/kumamoto_earthquake/book.pdf

○ 災害歯科保健医療対策

▼ JDAT（日本災害歯科支援チーム）	▼ JDATロゴマーク
▼ 災害歯科保健医療eラーニング	▼ JDAT標準研修会
▼ JDATアドバンス研修会	▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会
▼ 日本歯科医師会の災害対策	▼ 計画・規程等
▼ 災害時の歯科保健医療、身元確認に関する根拠法等	▼ 都道府県歯科医師会が締結している協定等
▼ アクションカード・アセスメント票	▼ 避難所掲示・配布用ポスター等
▼ これまでの災害対応＜時系列＞	▼ 災害歯科コーディネーター研修会
▼ 災害歯科保健医療・身元確認関連書籍	▼ 日歯HP 関連情報

● JDAT（日本災害歯科支援チーム）

JDAT（Japan Dental Alliance Team：日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、避難所等における応急歯科医療や口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的として、令和4年（2022年）3月7日に日本災害歯科保健医療連絡協議会が創設し、キーストーン。



活動要領・研修会・e-learning
行動指針・規則
根拠法・協定
共通書式・アクションカード
参考資料・過去の情報
関連情報



厚生労働省補助金 災害医療チーム等養成支援事業 研修会（2026年度現在）赤字は2024年度から

JDATロジスティクス研修会（計画中）

- ・各構成団体におけるJDAT事務局関係者が主な対象
- ・2024年度からロジスティクス基礎研修会をオンライン開催

JDATアドバンス研修会（2020年度～）

- ・対象は各構成団体よりの推薦者
- ・東京にて年3回（地域別）、実地
- ・事前動画・事前課題あり、当日は意見交換が主体

JDAT標準研修会（2018年度～（旧：体制研修会））

- ・eラーニング（標準編1時間）による事前研修あり、演習は5時間
- ・基本は地域開催（主催：各構成団体及び傘下団体）、対象は主催者で設定可
- ・日本歯科医師会開催は年1回：オンデマンド動画＋実地演習、各構成団体の推薦者）

JDAT基礎研修会（2024年度～）

- ・eラーニングのみ（基礎編2時間30分）
- ・どなたでも、いつでも、もちろん無料！
- ・PDFにて修了証発行

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>

○ 災害歯科保健医療対策

▼ JDAT（日本災害歯科支援チーム）	▼ JDATロゴマーク	災害歯科保健医療対策
▼ 災害歯科保健医療eラーニング	▼ JDAT標準研修会	災害歯科保健医療対策
▼ JDATアドバンス研修会	▼ 日本災害歯科保健医療連絡協議会	
▼ 日本歯科医師会の災害対策	▼ 計画・規程等	
▼ 災害時の歯科保健医療、身元確認に関する根拠法等	▼ 都道府県歯科医師会が締結している協定等	
▼ アクションカード・アセスメント票	▼ 避難所掲示・配布用ポスター等	
▼ これまでの災害対応＜時系列＞	▼ 災害歯科コーディネーター研修会	
▼ 災害歯科保健医療・身元確認関連書籍	▼ 日歯HP 関連情報	

● 災害歯科保健医療eラーニング

基礎編の受講・研修登録はこちらから

標準編の受講・研修登録はこちらから
※基礎編修了後の受講を推奨します

研修受講に当たっての注意事項（基礎編）

研修受講に当たっての注意事項（標準編）

※必ず注意事項及び下記実施要領を読んでから研修登録を行うこと。
※基礎編と標準編の両方を受講する場合はそれぞれ研修登録が必要となる。

約2時間30分

約60分

<https://www.jda.or.jp/dentist/disaster/>



共通書式
マニュアル
ポスター

災害時、私たちにできること



共通書式などは全て
こちらに載っています
歯科医師もこちらから
ご確認ください

被災者の
避難生活で
が生まれ
います
登録の

Link 災害歯科保健歯科衛生士登録

被災状況に合わせて歯科衛生士の支援活動を円滑に行うための実践マニュアルです。基本姿勢や平時の備え、現場での具体的な行動手順などをまとめました。

PDF 災害歯科保健活動
歯科衛生士実践マニュアル2021

<https://www.jdha.or.jp/topics/jdha/c/501/general/>

<https://www.lion.co.jp/ja/emergency-care/download.php>

<https://www.lion.co.jp/ja/emergency-care/download.php>

<https://www.lion.co.jp/ja/emergency-care/>

ザンスター株式会社 〒106-0032 東京都港区赤坂1-10-10 赤坂サカエビル10F 03-3581-1111 FAX 03-3581-1112
<http://jp.xunstar.com> 法人にのみご利用可

Mouth & Body Topics VOL.3

人々の健康を口から守る
～災害時の歯性肺炎予防の事例から～

中久木 康一 氏
足立 了平 氏



「防災にオーラルケア」普及活動紹介

歯みがき、お口のケアはあなたの命を守ります！

災害時の歯のケアは、命を守るために非常に重要です。歯の健康は、体の健康と密接に関連しています。災害時には、歯のケアが不足すると、歯の痛みやむしりなどの問題が生じ、さらに歯性肺炎などの深刻な健康問題を引き起こす可能性があります。

「防災にオーラルケア」は、災害時の歯のケアを支援するための活動です。この活動では、歯の健康を維持するための基本的な知識や技術を普及させ、災害時の歯のケアを支援しています。

活動の目的は、災害時の歯のケアを支援することです。具体的には、歯の健康を維持するための基本的な知識や技術を普及させ、災害時の歯のケアを支援しています。

月刊nico 2018年8月号



歯科の災害保健医療支援

大規模災害が起きたとき、被災地では保健医療支援活動を行うのは、歯科の医療者だけではありません。歯科医療者も、歯と口の健康が被災者の命を守るために重要な役割を果たします。

一般にはあまり知られていない歯科の災害時の保健医療支援活動について、本誌を通じて歯科医療者の災害時活動コーディネーターである中久木康一氏にインタビューを行いました。

非常用持ち出しに入れておきたいオーラルケアグッズ

基本セット

- 歯ブラシ**：歯を磨くための基本的な道具です。災害時には、歯の健康を維持するために非常に重要です。
- 歯間ブラシ・フロス**：歯と歯の間の汚れを落とすための道具です。歯の健康を維持するために非常に重要です。
- 液体ハミガキ**：歯を磨くときに使用する液体ハミガキです。歯の健康を維持するために非常に重要です。
- 口ケア用のウェットティッシュ**：口を拭くためのウェットティッシュです。歯の健康を維持するために非常に重要です。

も入れたいもの

- 入れ歯ケース**：入れ歯を保管するためのケースです。災害時には、入れ歯の健康を維持するために非常に重要です。
- 入れ歯洗浄シート**：入れ歯を洗浄するためのシートです。災害時には、入れ歯の健康を維持するために非常に重要です。
- 入れ歯ブラシ**：入れ歯を磨くためのブラシです。災害時には、入れ歯の健康を維持するために非常に重要です。
- 入れ歯洗浄剤**：入れ歯を洗浄するための洗浄剤です。災害時には、入れ歯の健康を維持するために非常に重要です。

医歯薬出版, 2014年, 3960円

クインテッセンス出版, 2016年, 1980円

医歯薬出版, 2018年, 7200円

令和4年度厚生労働行政推進調査(令和7年度改定追補版)
<https://jsdphd.umin.jp/pdf/22IA2006.nkkk.booklet.4p.20260108.pdf>



砂書房, 2011年, 3080円

一世出版, 2015年, 2200円

医歯薬出版, 2021年, 3850円



大規模災害時の歯科保健医療活動

～口機能からの健康維持～

災害時には、歯科保健医療活動が非常に重要です。この活動では、歯の健康を維持するための基本的な知識や技術を普及させ、災害時の歯のケアを支援しています。

災害時の歯科保健医療のチェックポイント

- 災害時の歯科保健医療のチェックポイント
- 災害時の歯科保健医療のチェックポイント
- 災害時の歯科保健医療のチェックポイント

被災後の時間経過と地域歯科支援の概要

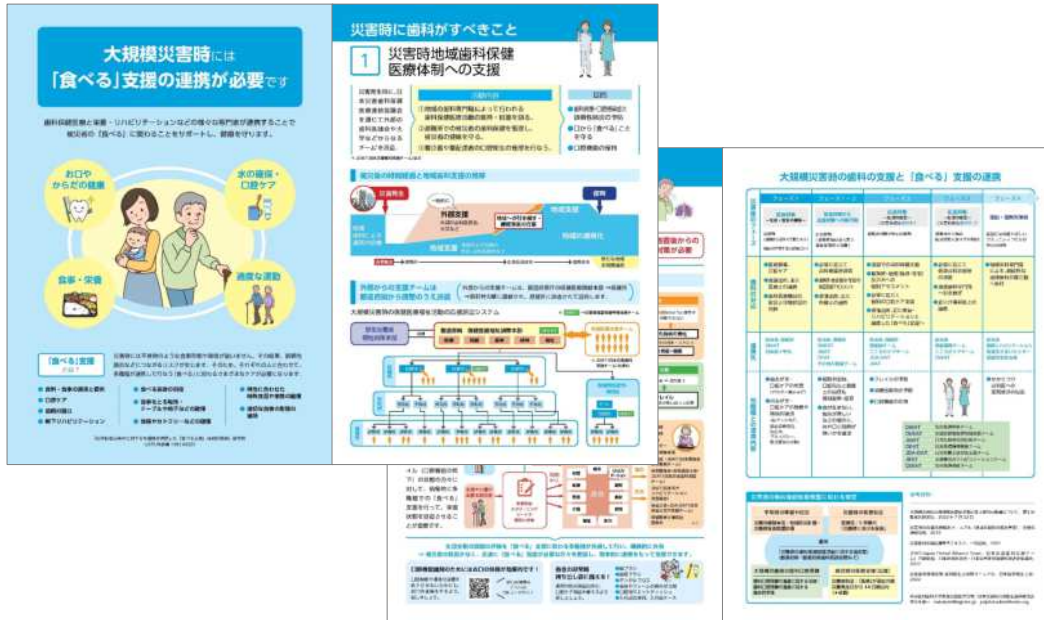
被災後の時間経過と地域歯科支援の概要

被災者のために歯科がしてあげるべきこと

被災者のために歯科がしてあげるべきこと

平成30年度～令和4年度 JSPS科研費

<http://jsdphd.umin.jp/pdf/19K10420.nkkk.4p.pdf>



日本災害時公衆衛生歯科研究会

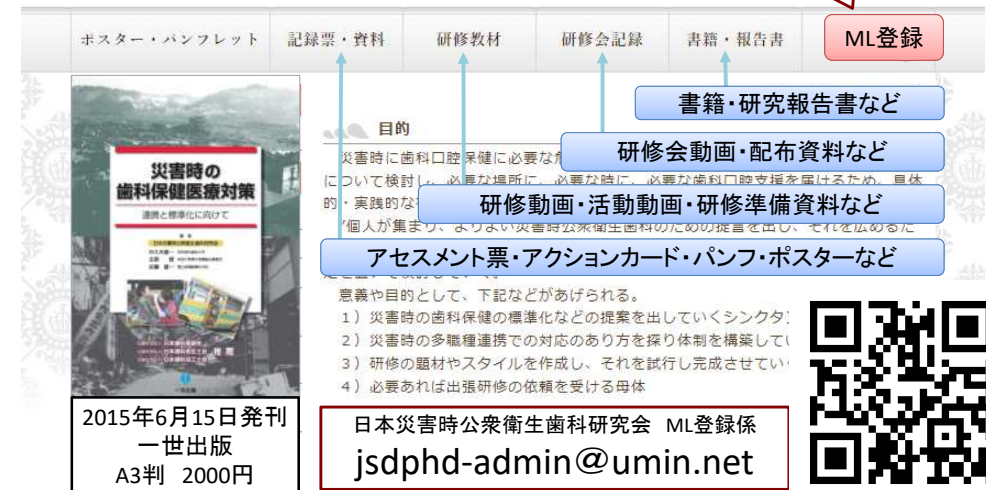
<http://jsdphd.umin.jp/>



日本災害時公衆衛生齒科研究会

Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (D

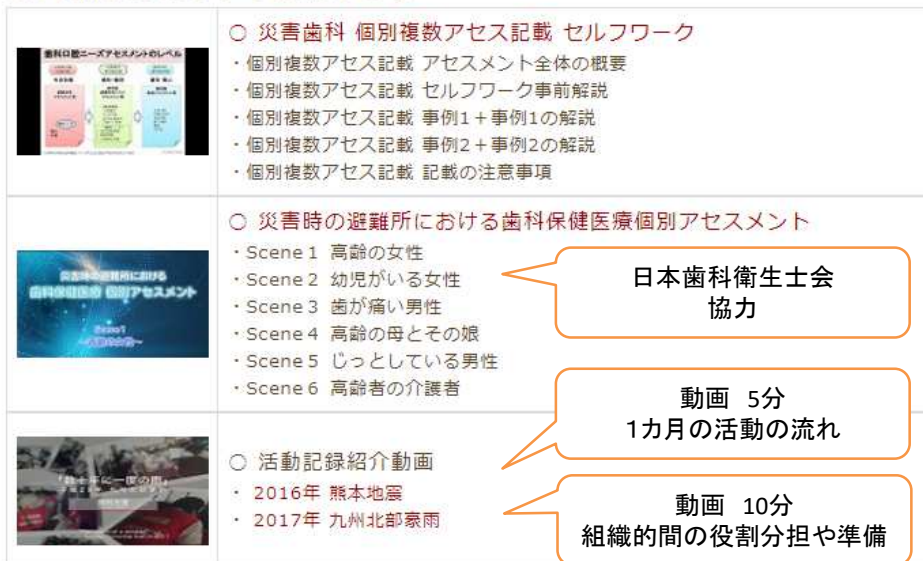
メーリングリスト
 各種書式・パンフレット
 研修媒体動画
 研修会資料・動画



災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

●災害歯科保健 Disaster Oral Health [YouTube]

※YouTubeにリンクが飛びます



被災地での水不足が健康リスクを高める

避難所での生活が フレイル(虚弱)を 加速させる

被災時にも活躍する
オーラルケア用品



三

DIAMOND
online

新着

業界

学び

特集

書籍

避難生活が招く「震災関連死リスク」を減らす「口腔ケア」とは？【歯科医が解説】

真島加代 / 清談社

健康 ニュース3編組

2023年11月28日 4:00



写真はイメージです Photo:PDXTA

震災半島地震発生から11か月がたった。この間も、震災半島は水害に見舞われるなど自然の脅威にさらされ、多くの人が不安な日々を過ごしている。災害によって家を失った人々が身を寄せる避難所では、さまざまな物資が不足し、行動を制限された日々を送らなければならない。しかし、罹災状況にもかかわらず「口腔（こうくう）内のケア」を怠ると、その後の生活に影を落とすリスクがあるという。

（清談社 真島加代）

被災地で水の不足が健康リスクを高める

避難生活が招く「震災関連死リスク」を減らす「口腔ケア」とは？【歯科医が解説】
ダイヤモンド・オンライン 2024.11.28 <https://diamond.jp/articles/-/353929>

能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続

寄稿 中久木 康一, 長谷 剛志

2025.04.08 医学界新聞:第3572号より



図1 災害時の口腔健康管理/口腔機能管理

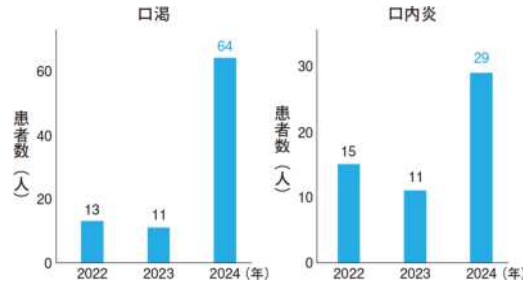


図2 能登半島地震後に増加した口腔の主訴
公立能登総合病院歯科口腔外科における1月1日～2月29日の2か月間の受診数。

【寄稿】能登半島地震による被災者の口腔への影響と、地域で連携した「食べる」支援の継続
2025.04.08 医学界新聞: 第3572号, https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2025/3572_05



災害時の歯科活動
災害時の歯科活動は、被災者の口腔健康を維持し、生活の質を向上させるために重要な役割を果たします。被災者は、地震による建物倒壊や火災による口腔健康への影響を受け、歯科治療を受ける機会が減少しています。歯科医師は、被災者の口腔健康を維持するために、災害時の歯科活動を積極的に実施する必要があります。



図3 歯科診療所における被災者の口腔健康に関するアンケート結果

項目	回答数	割合
被災者の口腔健康に関する意識が向上している	15	75%
被災者の口腔健康に関する意識が向上していない	5	25%

災害時の歯科活動
災害時の歯科活動は、被災者の口腔健康を維持し、生活の質を向上させるために重要な役割を果たします。被災者は、地震による建物倒壊や火災による口腔健康への影響を受け、歯科治療を受ける機会が減少しています。歯科医師は、被災者の口腔健康を維持するために、災害時の歯科活動を積極的に実施する必要があります。

災害時の歯科活動
災害時の歯科活動は、被災者の口腔健康を維持し、生活の質を向上させるために重要な役割を果たします。被災者は、地震による建物倒壊や火災による口腔健康への影響を受け、歯科治療を受ける機会が減少しています。歯科医師は、被災者の口腔健康を維持するために、災害時の歯科活動を積極的に実施する必要があります。

災害時の歯科活動
災害時の歯科活動は、被災者の口腔健康を維持し、生活の質を向上させるために重要な役割を果たします。被災者は、地震による建物倒壊や火災による口腔健康への影響を受け、歯科治療を受ける機会が減少しています。歯科医師は、被災者の口腔健康を維持するために、災害時の歯科活動を積極的に実施する必要があります。

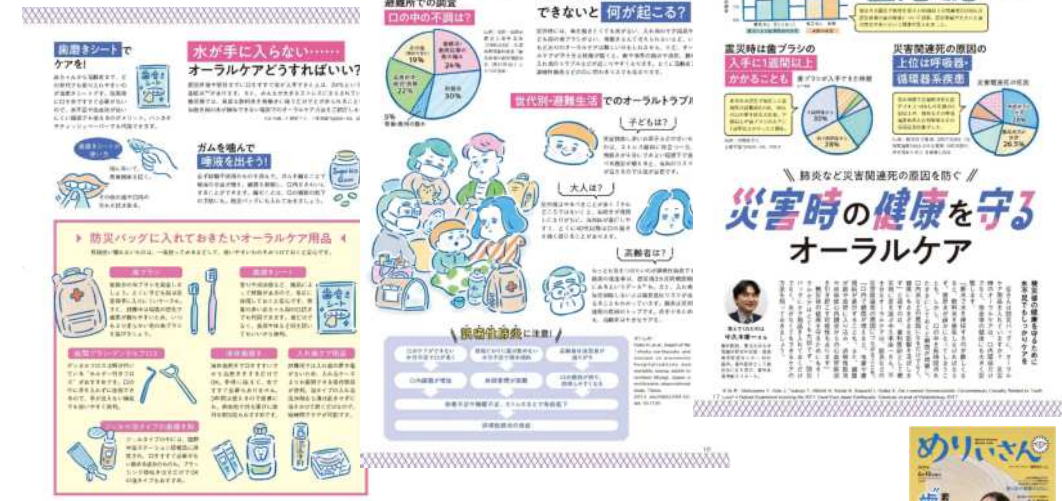
災害時の歯科活動
災害時の歯科活動は、被災者の口腔健康を維持し、生活の質を向上させるために重要な役割を果たします。被災者は、地震による建物倒壊や火災による口腔健康への影響を受け、歯科治療を受ける機会が減少しています。歯科医師は、被災者の口腔健康を維持するために、災害時の歯科活動を積極的に実施する必要があります。

もし明日、災害が起きたら？
歯科医師は被災者に求められる役割とは？



中久木 康一先生
東京大学歯学部 歯学部附属
災害・復興歯科センター
中久木 康一先生

ライオン歯科材 Dent. File vol.57, 2025May, P9-10 歯科の新常識「災害時の歯科活動」
許可をいただき転載: 日本災害時公衆衛生歯科研究会>ポスター・パンフレット等
<https://isdphd.umin.jp/forcitizens.html>

災害時の健康を守るオーラルケアポスター。内容は、災害時の口腔ケアの重要性、必要な用品のリスト、そして具体的なケア方法が紹介されています。ポスターには、歯ブラシ、歯粉、歯間ブラシ、歯肉炎予防剤、歯肉炎予防剤、歯肉炎予防剤などの画像が掲載されています。

50代の女性を応援するフリーマガジン「めりいさん」 <https://merry.inc/>
2025年6月10日号(歯と口の健康週間に関する特集)
許可をいただき転載: 日本災害時公衆衛生歯科研究会>ポスター・パンフレット等
<https://isdphd.umin.jp/forcitizens.html>

